

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

②施設・事業所情報

名称：長津田こども園	種別：認可保育所
代表者氏名：園長 坂巻香織	定員（利用人数）：60名（68名）
所在地：〒226-0028 横浜市緑区いぶき野8番1号	
TEL：045-983-9055	ホームページ： http://kodomonomori.co.jp/n2/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2006年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社こどもの森	
職員数	常勤職員：14名 非常勤職員 5名
専門職員	（保育士） 14名
	（栄養士） 1名
	（調理師） 1名
施設・設備の概要	（居室数）6保育室、事務室、 厨房 （設備等）園庭、空調設備、厨房設備、 沐浴設備
	保育室はロッカーで仕切り各居室を作っています。

③理念・基本方針

<p>園運営理念：自分の子どもを入れたい園にする 基本理念：愛する心を育てよう。 周りの大人からしっかり愛されることで、自分のことも周りの人も大事に出来る人に育ちます。 どこに行っても、いくつになっても、人との関係は続きます。 自己肯定感を育て、豊かに生き抜くための力をここで養います。</p> <p>基本方針：愛して 誉めて 励まして 認める 目標 ：明るく元気で素直な子 思いやりのある優しい子 命を大切にする子</p>
--

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>保育園は横浜線長津田駅から徒歩10分余り、玄関前の歩道にいぶき野バス停があります。幹線道路に面した角地に建つマンションの1階にあり、周辺は住宅地です。50mほど離れたところに園庭があり、冬は毎朝子どもが、大きな輪になって走るマラソンで体を鍛えています。</p> <p>運営主体は株式会社こどもの森で、2006年4月1日に開園しました。定員60人、調査時点の利用者数は69人です。開園以来、園長を中心に職員と手を携えて保育の質の改善を重ねながら、安定した保育に取り組んでいます。</p> <p>基本方針は「愛して 誉めて 励まして 認める」とし、子ども一人一人にしっかり愛情を注ぎ、同時に、保護者に寄り添うよう努めています。開園時の子どもがはや高校</p>
--

生となり、小学1年生から高校生までの卒園生や保護者が時折訪問しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年7月9日（契約日） ～ 2020年3月31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回 （2008年度、2014年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 保育の質を高めるため、自己評価やアンケートを実施しています。

自己評価を年3回、保護者アンケートを年4回、第三者評価の受審はこれまで2回と、内部外部から客観的に振り返る機会を作り、データを分析し、課題や改善点を抽出しています。これらの結果を、保育の質の向上や環境設定に反映するとともに、事故の予防策、感染症対策等に生かしています。

2. 運営理念を「自分の子どもを入れたい園にする」、基本理念を「愛する心を育てよう。」はじめ4項目、また、基本方針を「愛して 誉めて 励まして 認める」としています。

運営会社の「教育経営計画書」の「子どもに対する方針」に「一人一人を大切にする。」と明記して、保育の中で一人一人が練習してできるようになった得意の運動を、運動会の晴れの舞台で保護者に披露しています。鉄棒の逆上がりやきめポーズなど得意の運動を披露しました。子ども全員が何か一つ自分のものを披露するなど子どもを尊重した支援に努めています。

◇改善を求められる点

1. 中・長期計画で定めた目標の実現に向け具体的に取り組む計画が期待されます。

中・長期計画を定めていますが、その目標の実現に向けた具体的な取り組み計画、期間、実施状況の評価・目標の指標等の設定が不足していると思われます。中・長期計画で定めた目標を実現していくため、年単位の目標を定め年間事業計画を作成し、職員全員が理解し、取り組むことが期待されます。

2. 室内の環境に関し、整理整頓の面と安全の面からさらなる改善が期待されています。

今回の利用者調査の結果、「保育園内は清潔で整理整頓が行き届いていると思うか」（問9）に対し、「はい」と答えた回答者は74%、「どちらともいえない」と答えた回答者は26%でした。保護者の意見には、少数ながら整理整頓の面からと併せて安全の面から見た記述が見られました。これらの結果を踏まえ、現状を点検し、改善に取り組むことが期待されています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審は3回目になります。開園から変わらない園方針『愛して誉めて励まして認める』は、職員のみならず、子どもたちや保護者等園全体に浸透してきていると感じています。自園の子どもたちが、下の子の面倒をよく見てくれるのは、そういった思いやりの心が育っているからだと思います。また、保護者からの優しく思いやりのある言葉掛けや心遣いは職員のモチベーションを上げ、頑張るエネルギーとなっております。今後もこの方針に沿って、子どもたち一人ひとりに愛情を注ぎ、自己肯定感がしっかりと育つ保育を行っていきたいと思います。

今回の第三者評価で、特に見直しをしなければいけないと感じた点は、中・長期計画についてです。年単位の目標設定や年間事業計画案を見直し、より良いものにする事で、今後の園の向上に繋がっていくと思います。

また、利用者のコメントの中に、小学校へ向けての準備期間が遅いとの記述がありま

したので、こちらも合わせて見直しをして改善していきたいと思います。

今回の第三者評価の受審にあたり、多忙な保護者の皆様方に利用者調査にご協力いただきありがとうございました。また、今まで気づけていなかった事に気付かせていただくことも出来ました。評価調査者の皆様に感謝いたします。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり